発行日：令和５年５月１２日

company newsletter

環境経営レポート

レポート対象期間：2022年4月～2023年3月

有限会社 美松運送

our skills & our spirits
ー自分たちカー

ホームページQRコード

≪目次≫

	P-表紙
1．組織の概要	P-1
2. 環境経営方針	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営活動の取組計画と評価	P-5
6. 環境への独自の取り組みを強化	P-6
7. 環境関連法規制の遵守	P-7
8. 代表者による全体の評価と見直し	P-7

群馬県藤岡市から、こんにちは！美松運送です

環境経営レポート

レポート対象期間：2022年4月～2023年3月　　有限会社　美松運送

our skills & our spirits　自分たち力

美松運送は、昭和40年藤岡市の産業の要であった〈瓦〉の輸送から始まり、自動車部品を中心にあらゆる荷物の輸送を行ってまいりました。お客様の要望に応えるため、社員一人ひとりがあらゆる方向からなにができるのかを真剣に考えて実行しています。お客様と共に歩み、物流環境の最適化を提案し続けてまいります。

１．組織の概要

1.　事業所及び代表者名

有限会社　美松運送
代表取締役　松原 二三男

2. 所在地

本社及び三本木倉庫　：　群馬県藤岡市三本木430番地7
西平井車庫　：　群馬県藤岡市西平井1783-1
東平井倉庫　：　群馬県藤岡市東平井1410-11（東平井工業団地内）

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者　：　代表取締役　松原 二三男
環境管理責任者　：　経理部長　松原 美由起
担当　：　ＥＡ２１事務局　飯島　幸治
TEL　：　0274-23-3788
FAX　：　0274-24-1972

4. 対象範囲

有限会社 美松運送　全組織及び全活動

5. 事業の内容

貨物の輸送・保管業務

6. 事業規模

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
従業員数	人	56	56	54
延べ床面積	㎡	15,835	15,835	15,835

環境経営レポート

レポート対象期間：2022年4月～2023年3月　　有限会社　美松運送

環境経営方針

〔基本理念〕

私たち美松運送は、安全第一主義の理念のもと、お客様に【感動】を与えるサービスを提供するとともに、持続可能な社会を実現するための地域社会の一員として環境保全活動に取り組み、エネルギー負荷の低減と資源の有効活用に努め、次のとおり環境経営方針を定めます。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ継続的に取組みます。

１．当社の主力事業である、貨物の運搬・保管及び管理の各領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。

①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力の削減・使用化石燃料の削減に努めます。
②事業活動で発生する廃棄物を発生抑制するとともに処理量や排出経路を把握し、資源のリサイクルに努めます。
③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。

２．環境活動推進にあたり、環境委員会を設置し環境目標や活動計画を策定し取組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。

３．事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。

４．環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。

５．環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

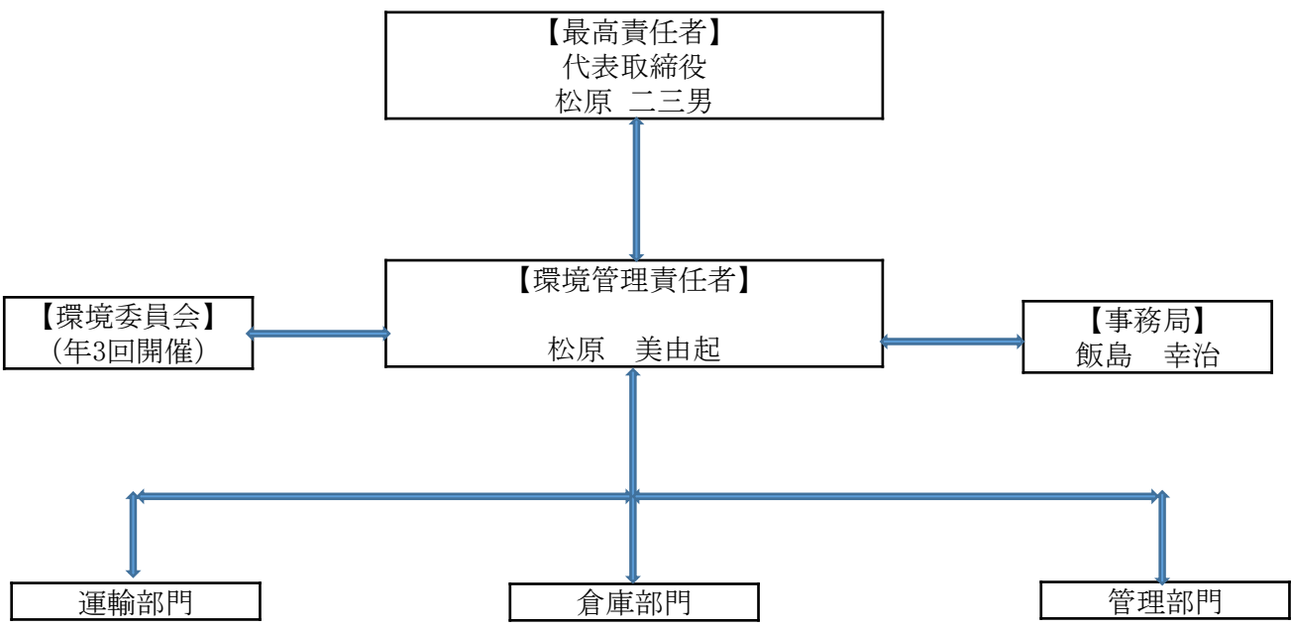
制定日2020年 8月 1日

有限会社　美松運送
環境保全最高責任者

代表取締役
松原　二三男

環境経営レポート

レポート対象期間：2022年4月～2023年3月　　有限会社　美松運送



職名	役割
最高責任者	【代表取締役　松原 二三男】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用･維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築･運用に関する情報を収集し、環境経営方針・目標・計画等、システム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【松原 美由起】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的･効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築･運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【飯島　幸治】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者･環境管理責任者･事務局･部門長で構成し、年3回環境管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

環境経営レポート

レポート対象期間：2022年4月～2023年3月　　有限会社　美松運送

４．環境経営目標とその実績

1．環境経営目標とその実績

※本社・東平井倉庫/西平井倉庫の購入電力は東京ガス0．364kg-CO2/kwh（令和元年実績調整後）を使用

環境経営目標	基準値	今年度目標				中長期目標	
	2019年	2022年				2023年	2024年
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況		
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減（kg-CO_2/百万円）	3,694.66	2019年実績に対して3%削減	3,583,82	3,106.72	実績値に対して15.91%削減した。	2022年実績に対して1%削減	2022年実績に対して2%削減
②売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減（kg/百万円）	11.19	2019年実績に対して3%削減	10.86	7.77	実績値に対して30.60%の増加となっている。	2022年実績に対して1%削減	2022年実績に対して2%削減
③従業員一人当たりの水使用量の削減（㎥）	24.86	2019年実績に対して3%削減	24.11	19.77	実績値に対して20.50%削減した	2022年実績に対して1%削減	2022年実績に対して2%削減
④本業に関する目標	78%	走行管理表（燃費項目）の記入	100%	89%	記入率は1%上昇した。	100%	100%
	倉庫内作業事故５件	KY（危険予知）活動を実施し作業事故を無くす	倉庫内作業事故0件	倉庫内作業事故0件	危険予知について会議等で話し合っており、2020年2月からは事故は起きていない。	倉庫内作業事故0件	倉庫内作業事故0件
	14件	車輌事故（加害事故）件数の減少	9件以下	10件	順調に目標件数を達成している。	6件以下	4件以下
	—	環境委員会の設置・開催	設置・年3回の開催	委員会設置と会議の開催	LINEグループを作ったので、情報の共有に役立てていく	年3回会議の開催	年3回会議の開催

２．主な環境負荷実績（総量）

環境への負荷	2019年	2022年
①二酸化炭素排出量（kg-CO_2）	3,125.68	2,579.35
②廃棄物排出量（kg）	9,470.00	6,450.00
③水使用量（㎥）	1,392.00	1,127.00

環境経営レポート

レポート対象期間：2022年4月～2023年3月　　有限会社　美松運送

５．環境経営計画の取組みと評価

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価
1．二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のＯＦＦの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備	・SDGs宣言も行ったことで、社内ブランディングが少しづつ浸透してきた。エコドライブについても、県内で唯一の優良賞を受賞したので、これを誇りに頑張っていく。
	次年度の環境経営計画
	数値化した実績に対して、要因を分析して削減に努める。
2．廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	・廃棄処理・運搬事業者に任せていた分別を、社内でも行うようにした。実際の結果として削減には至っていないが、削減に向けて努力している様子はうかがえる。
	次年度の環境経営計画
	・事業者にマニュフェスト等をより詳細に示してもらえるようコミュニケーションを取っていく。
3．水使用量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	・使用量の削減に向けて社内に掲示を行い、朝礼等で啓蒙活動を行った。結果として使用量の削減に至っている。
	次年度の環境経営計画
	・実際の使用について分析し、結果を社内に周知して更なる努力を求めたい。
4．本業に関する目標 ①走行管理表の100%記入 ②KY(危険予知)活動の実施 ③新倉庫への取り組み ④事故件数の減少 ⑤環境委員会の設置・開催	・環境委員会や目標を設置したことで環境問題を意識できた。本業に関する目標も再認識した。
	次年度の環境経営計画
	・社内報やSNSを有効活用しながら情報の迅速化に努めていく。

環境経営レポート

レポート対象期間：2022年4月～2023年3月　　有限会社　美松運送

私たちのSDGs宣言

今、この瞬間、私たちにできることを
そして、未来の景色が見たいから・・・。

エコアクション２１の認証機関として、環境経営システムの仕組みを構築。経費削減や生産性向上に取り組んでいます。また、環境に配慮した車輌を積極的に導入。

エコドライブの継続的な取り組みや、環境GS（ぐんまスタンダード）認定企業として、PDCAサイクルを実践。環境マネジメントシステムを整備しています。さらに、太陽光・自家用発電施設を備え、災害時の事業継続、そして、地域への電力供給を可能にします。

事業継続力強化計画に基づきつつ、事前対策を実践。藤岡市との災害時における燃料などの供給に関する協定を締結。藤岡市環境保全協定にも賛同しています。地域の子供たちが思い描いた夢を車輌に描き、ドライバーが、その想いを背負い全国を走り抜けています。

社内環境、そして業界、藤岡市の環境を発信しています

環境経営レポート

レポート対象期間：2022年4月～2023年3月　　有限会社　美松運送

６．環境関連法規制の遵守

1．当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
フロン排出抑制法	3ヵ月に一回の簡易点検の実施及び、2回/年の清掃の実施とその記録簿の保存	遵法
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別処置法	適用される新しい法規のチェック	遵法
水質汚濁防止法	貯油施設の油水分離槽のチェック 特定施設の届け出	遵法
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施と記録の保存	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適正事業者への処分委託と廃棄物の適正処理、マニュフェスト交付状況報告書提出	遵法
消防法	・危険物保安監督者の選任 ・自家用給油所の管理 ・危険品・指定可燃物品保管品(保管量)届出 ・2回/年以上の避難・消火訓練の実施	遵法
自動車リサイクル法	社用車廃車時の引取り業者の確認	遵法

2．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

７．代表者による全体の評価と見直し

環境マネジメントシステムのエコアクション２１認証を取得してから１年余り。地球環境への配慮とともに、本業でもPDCAサイクルを回し、持続可能な社会構築を目指します。ドライバーは月に１回のペースで外部コンサルによるミーティングを実施。安全12項目に沿って安全運転とエコドライブを推進です。

また、働きやすい職場認証制度、健康経営優良法人の認証も含め従業員満足度も追求しているところでございます。ここ最近はSDGs宣言を行い、更なるCIの確立を目指していきます。

美松運送は安全第一の理念のもと、お客様の期待を超えるサービスのため、日々励んでいます。